



めざす子どもの姿 “夢に向かいチャレンジする 輝く木曾岬っ子” ~ Be a Challenger ~

き

希望や目標に向かって努力し、自ら考え、学ぶ子ども(知育)

そ

自分や他人の良さを認め
尊重し合い、思いやりのある言動ができる子ども(徳育)

さ

健康の大切さを知り、心身を
支え、より良い生活習慣を身に付ける子ども(体育)

き

木曾岬町の一員として
自覚をもち、町の良さを感じ、ともに生きる子ども(協働)

- ①生きる力の基礎を育む
幼児教育の推進
- ②学校教育の充実による
確かな学力の育成
- ③グローバルな視点を育
む教育の推進
- ④多様なニーズに応じた
特別支援教育及び外国
人児童生徒教育の推進

- ①道徳教育の推進
- ②人権教育の推進
- ③いじめ防止の取り
組みの推進
- ④多様な学びの場の
構築(不登校対策)

- ①体力向上と学校体
育活動の推進
- ②子どもの健康の保持
増進
- ③食育の推進

- ①コミュニティ・スク
ールの推進
- ②郷土への愛着や誇り
を育む教育の推進
- ③防災・安全教育の推
進
- ④子どもの健全育成
の推進

◆ 教育活動を下支えする取り組み ◆

①園・小・中の連携教育の充実

②信頼される教職員の育成

“木曾岬町ならではの”教育推進重点項目「オリジナル5」 プラス1

- I 信頼される園・学校づくりに向けたコミュニティ・スクールの充実
- II 子どもが主体的に学びに向かう保育・教育の実現
- III グローバル化に対応した英語教育・国際理解教育の推進
- IV 地域への愛着と誇りを育む郷土教育の推進
- V 園・学校図書館と町立図書館を活用し、家庭と連携した子どもの読書活動の推進

- < C S >
< 保育・学力 >
< 英語教育 >
< 郷土教育 >
< 読書活動 >

夢に向かってがんばる木曾岬っ子
応援キャンペーンの推進

< 取り組みのねらい >

- ① 夢や目標に向かってがんばる意欲を高める
- ② 規則正しい生活習慣や、学習習慣を定着させる
- ③ 園・学校、家庭、地域が協働して子どもを応援する



めざす子どもの姿 “夢に向かいチャレンジする 輝く木曽岬っ子” ~ Be a Challenger ~

き

希望や目標に向かって努力し、自ら考え、学ぶ子ども（知育）

そ

自分や他人の良さを認め、尊重し合い、思いやりのある言動ができる子ども（徳育）

さ

健康の大切さを知り、心身を支え、より良い生活習慣を身に付ける子ども（体育）

き

木曽岬町の一員として自覚をもち、町の良さを感じ、ともに生きる子ども（協働）

- ★① **生きる力の基礎を育む幼児教育の推進**
・環境設定を工夫することで、自発的な活動を促し、子どもの多様な体験活動を推進する。
- ★② **学校教育の充実による確かな学力の育成**
・子どもたちがタブレット端末を効果的に活用した「わかりやすい授業づくり」に取り組む。
・わからないことを次の学年に積み残さないようにするために、一人一人にきめ細かな指導を行う少人数学習や補充学習の充実を図る。
・学校や家庭において、読書に親しむ活動や読書の時間を増やす取り組みを進める。
- ★③ **グローバルな視点を育む教育の推進**
・情報活用能力の育成、プログラミング教育、英語教育等を通して、子どもがグローバルな視点を育成する。
・夢と志を育むためにキャリア教育の充実を図る。
- ④ **多様なニーズに応じた特別支援教育及び外国人児童生徒教育の推進**
・全ての子どもたちの生活や学習上の困難さを改善し、自立・社会参加に向けて基礎となる力を育成する。

- ① **道徳教育の推進**
・「考え、議論する道徳」の授業実践をめざし、指導の工夫や改善の取り組みを進める。
- ② **人権教育の推進**
・人権問題を自らの問題と捉え、身近なところから問題解決する行動力を育成するために、子どもが主体的に取り組む人権教育を推進する。
- ③ **いじめ防止の取り組みの推進**
・木曽岬町いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けた組織的な取り組みや啓発を進める。
- ④ **多様な学びの場の構築（不登校対策）**
・子ども一人一人に応じた支援を行うために、校内体制や相談体制の充実を図り、不登校の未然防止や早期解消につなげる。

第2期木曽岬町教育振興基本計画（トマッピー教育プランⅡ）に示す教育施策の中から、木曽岬町ならではの「オリジナル5」を重点的な施策として展開していく。

★＝「オリジナル5」に関連するもの

- ① **体力向上と学校体育活動の推進**
・子どもの体力の実態や課題の把握に努め、体力向上に向け指導の工夫・改善を図る。
・中学校の休日における運動部活動の地域展開に向けて、具体的な内容を協議する。
- ② **子どもの健康の保持増進**
・子どもの健康の保持増進に向け、学校保健安全計画に基づき健康づくり教育を推進する。
・薬物乱用防止教育等を通じて、有害な薬物等から自分の身を守る態度を養う。
- ③ **食育の推進**
・給食で地元産の食材を食するとともに、家庭と連携しながら「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組む。子どもの望ましい食習慣の定着を図る。

- ★① **コミュニティ・スクールの推進**
・園・学校づくりビジョンの実現に向けて、園・学校運営協議会の充実を図る。
- ★② **郷土への愛着や誇りを育む教育の推進**
・子どもたちが郷土を知り、理解を深め、将来地域で活躍する意欲と態度を身に付けさせる取り組みを進める。
・子どもたちが地域行事やボランティア活動等へ積極的に参加（参画）する態度を養う。
- ③ **防災・安全教育の推進**
・「伊勢湾台風」の教訓を継承しながら防災教育の充実を図るとともに、関係団体等と連携して自ら身を守ることができる子どもを育成する。
- ④ **子どもの健全育成の推進**
・夢に向かってがんばる木曽岬っ子応援キャンペーンや「子育て8つの指針」を推進し、保護者と共に子どもの健全育成や自己肯定感の向上に努める。
・地域の子どもの育成団体と連携し、積極的に外部人材を活用して教育活動の質的向上を図る。

◆ 教育活動を下支えする取り組み ◆

- ① **園・小・中の連携教育の充実**：こども園、小中学校が、めざす子ども像を共有し、15歳の中学校卒業時の子どもの姿を見据えた一体性・系統性のある教育を進める。
・「オリジナル5」の教育内容について、各学年でつなげなければならぬ力を明確にしながら、小中一貫ガイドラインやグランドデザインの策定作業を進める。
- ② **信頼される教職員の育成**：こども園、小中学校の研修の充実を通して、教職員の指導力や専門性の向上を図る。・教職員の働き方改革を通じて、子どもたちと向き合う時間を確保し、効果的な教育活動を持続させる。

“木曽岬町ならではの”教育推進重点項目「オリジナル5」プラス1

- I **信頼される園・学校づくりに向けたコミュニティ・スクールの充実 <CS>**
◆園・学校、家庭、地域が一体となり、地域の資源を生かした教育が行われることにより、地域全体で子どもたちの「学び」と「育ち」を支える体制が整っている。
- II **子どもが主体的に学びに向かう保育・教育の実現 <保育・学力>**
◆幼児が遊びの中で学んだり、児童生徒が学習内容を深く理解し、教科ごとに求められる資質・能力を身に付けたりして、自ら能動的に学び続ける姿勢が身についている。
- III **グローバル化に対応した英語教育・国際理解教育の推進 <英語教育>**
◆中学校卒業時までには英語検定3級程度以上の英語力を身に付けるとともに、英語を用いて自分の思いや考えを伝えるなど積極的にコミュニケーションを図ることで、グローバルな視野と志を持ち、異なる文化に対する知識や理解を深めていく力を身につけている。
- IV **地域への愛着と誇りを育む郷土教育の推進 <郷土教育>**
◆郷土を知り理解したり、地域課題について探求的に考えたりする中で、郷土への愛着と誇りを身に付けるとともに、地域の行事やイベント等への積極的な参加や参画を通して、地域貢献をしようとする態度が身についている。
- V **園・学校図書館と町立図書館を活用し、家庭と連携した子どもの読書活動の推進 <読書活動>**
◆第四次木曽岬町こども読書活動推進計画に基づき、園・学校や町立図書館、家庭が協働して、読書に親しむ活動や、家庭読書充実のための啓発などを行うことで、読書の時間が増え、子どもも保護者も本を手取る習慣が身についている。

夢に向かってがんばる木曽岬っ子 応援キャンペーンの推進

<望ましい姿>

- ① 夢や目標に向かってがんばる意欲が高まる
 - ② 規則正しい生活習慣や、学習習慣が定着する
 - ③ 園・学校、家庭、地域が協働して子どもを応援する
- <取り組みのポイント>
- ・子どもの家庭学習、読書、ゲームの時間をアンケートで把握
 - ・家庭学習・読書の定着に向けた子どもへの関わりや支援
 - ・教育講演会を実施し、子どもを応援する機運を高める
 - ・子どもの非認知能力の育成に向けた子育ての啓発